

英語

- I** 解答 問1. (ア)―④ (イ)―① (ウ)―② (エ)―② (オ)―③
問2. (a)―④ (b)―① (c)―② (d)―② (e)―①
問3. (あ)―① (い)―① (う)―① (え)―③ 問4. ②, ⑤, ⑥

解説

《初のムロ語の文法書が先住コミュニティに希望をもたらす》

問1. (ア) 空所を含む文の前半は、ムロ語は左から右に書く簡単なアルファベットだという説明で、そのあとに逆接の but で結ばれていることと、空所後の文が「ユニコード用ブロックはあるが、いまだにオンラインでは書き込むことができない」ということから考えると「言語のさらなる発展は遅れている」とすると文脈に合う。

(イ) 空所を含む文の前半と後半の関係を考える。「ムロ語で書かれた本はいくつか出版されたことがある」と「文法構造がきちんと記録されたことは今までになかった」をつなぐ接続詞は、逆接を表す① Although が適切。

(ウ) 空所を含む文の主語 This は前文の「ムロの人々が自分たちの言語で正しく読み書きできること」を指す。それがベンガル語や英語の文法を理解するのに「役立つ」ことになるかと推測できるので、② helpful がふさわしい。be helpful for ～ 「～の役に立つ」

(エ) 空所を含む段には「絶滅の危機にある言語を守るために」行われている政策が述べられている。

(オ) 空所の直前には保護政策が危機に陥っていることが述べられているが、その原因として考えられるものは「訓練を受けたネイティブの先生不足」だと考えるのが自然である。the lack of ～ 「～の不足」

問2. (a) awareness 「認識」に近いのは、④ understanding 「理解」である。①「期待」 ②「中断」 ③「責任」

(b) この present は形容詞で「存在している、そこにいる」という意味。

本の出版記念イベントにいたとなるので、近い意味は① attend 「～に出席している」である。③ 「～を明らかにする」

(c) invaluable 「非常に貴重な」に近いのは、同義の② precious である。

① 「手作業の」 ③ 「責任がある」 ④ 「あいまいな」

(d) inhabit は「住む」という意味なので、②が近い。

(e) progress 「進歩」に近いのは、ほぼ同義の① advancement である。

② 「耕作」 ③ 「減少」 ④ 「保存」

問3. (あ) 波線部(A)の意味は「Younguang 氏の登場は、暗い僻地のチッタゴン丘陵地帯で一筋の光のようなものである」。① 「孤立した田舎に前向きな変化をもたらした」が、言わんとする内容に近い。

(い) 2010年の国家教育政策についての記述は最後から2つ目の段落 (In order to …) にあるが、① 「文化的多様性についての知識は、母国語で教えられる予定である」という記述はない。②は同段第4文 (In accordance with …), ③は同段第2文 (The policy states …), ④は同段第3文 (Article 20 states, …) にそれぞれ記述がある。

(う) 波線部(B)は「Younguang Mro 氏が記した (文法書) *Totong* はムロの人々にとって言語の新たな発展の先駆けとなるだろう」という意味である。① 「*Totong* のおかげで、ムロの人々は文法を学ぶことで正しく言語を使うことができる」が最も近い。

(え) Younguang Mro 氏についての説明は第4段 (The name of …) にある。同段第1文の and 以下より、③ 「彼はムロ語で初めての文法書を書いた研究者でもあり、著者でもある」が正解。

問4. ① 「1991年の人口調査によると、チッタゴン丘陵地帯に住むムロ族の人口は25,000人を超えていた」

第2段 (The Mro people …) には「1991年の人口は22,178人」とあるので、一致しない。

② 「ムロ語のアルファベットが開発された40年後に、初めての文法書が出版された」

第3段第1文 (In 1982, …) に1982年にムロ語のアルファベットが開発されたとあり、最初の文法書 *Totong* の発売は第5段第1文 (The book was …) に2022年とあるので、一致する。

③ 「ムロ語はとても独特なので、その文法構造は他と大きく異なってい

た」

第5段最終文 (This will be …) の後半にベンガル語や英語の文法と似た構造をしているとあるので、一致しない。

④「Younguang 氏は10冊のベンガル語で書かれたものを含めて、ムロ文化やおとぎ話に関する本を18冊執筆した」

第6段第2文 (As a writer, …) に出版した書籍数は全部で28冊とあるので、一致しない。

⑤「Totong の出版に対して感謝の意を表すコメントが、フェイスブックに投稿された」

第8段では第2文と最終文が On Facebook で始まり、ライターとアーティストが感謝の気持ちをフェイスブックに書いたことがわかるので一致する。

⑥「バングラデシュは、圧倒的多数の人々がベンガル語を話す国である」

第9段第1文 (Bangladesh is a …) に一致する。

⑦「Salek Khokon 氏によると、バングラデシュではすでに12～16の言語が消滅してしまった」

第9段第3文 (Of these, about …) に「12～16の言語が異なるレベルで危険にさらされている」とはあるが、消滅してはいないので一致しない。

⑧「ユネスコは、ムロ語を含む先住民族の言語の問題は解決されたと考えている」

第9段最終文 (The Mro language, …) に一致しない。

- II** 解答 問1. (ア)―④ (イ)―① (ウ)―① (エ)―① (オ)―③
問2. (a)―② (b)―④ (c)―④ (d)―②
問3. (あ)―④ (い)―③ 問4. ②, ④

解説

《古い着物が再利用によって新しい衣服に生まれ変わる》

問1. (ア) 空所を含む第3段は、Far East Fabric 会社設立の経緯が述べられている。「会社設立は中古品オークションがきっかけであった」とするのが適切。④ trigger はもともと「(引き金)を引く」という意味で、そこから「～のきっかけになる」という意味になる。② fund 「～に資金を提供する」 ③ run 「～を経営する」

(イ) 空所を含む英文 (As they were …) の意味は, 「この問題を考えているときに, 雑誌で見たアロハシャツに発想を得て, 着物を男性用上着に変えるという考えを思いついた」となる。② get along with ~ 「~とやっっていく」 ③ look up to ~ 「~を尊敬する」

(ウ) 空所を含む第4段 (The fabric used …) は着物に使用されている生地はリサイクルしにくいものだが, 職人たちの注意深い作業のおかげで独特の製品化に成功したことが述べられている。① 「結果として」が適切。② in contrast 「対照的に」

(エ) 空所を含む第5段 (Far East Fabric …) は現在の会社の販路が説明されており, 空所の後には顧客の数は1,300以上と説明があるので, ① 「現在」が適切。

(オ) 空所の直後には traditional entertainment worlds の具体例が続いているので, ③ 「~のような」が適切。

問2. (a) ここでの article は「品目」という意味なので, ②が近い。

(b) ここでの tackle は「取り組む」という意味なので, ④が近い。

(c) 「~で知られている」に近いものは, ④ recognized as ~ 「~として認められている」である。① 「~にふさわしい」 ② 「~で判断される」

(d) significance は「重要性」という意味なので, ②が近い。① 「分類, 等級分け」 ③ 「方法」 ④ 「共感」

問3. (あ) 波線部(A) this problem の内容は, 直前にある第3段第2・3文 (The company's founder … the unsold ones.) 「その会社の創設者は誰も買いたがらない着物がたくさんあることに気がつき, 売れ残った着物をどうやって活用しようかと考えていた」ことを指している。

(い) ③ 「その創業者はアロハシャツの店を所有している」という記述は本文にない。その他の選択肢については, ①と②は第2段 (Far East Fabric is …), ④は第5段 (Far East Fabric sells …) を参照。

問4. ① 「古い着物を売りたい人は, 福岡市のデパートで一定期間それらを展示することができる」

福岡市のデパートに関する記述は第1段第2文 (The clothes were …) にあるが, これは着物を売りたい人が展示するわけではなく, 古い着物が仕立て直されて別の衣料品になったものが期間限定で展示されているということなので, 一致しない。

②「Far East Fabric が使用する生地は、伝統的な工芸技術で作られた特別な織物である」

第2段最終文 (The fabric of …) 「中古の着物の生地は大島紬という鹿児島県の伝統工芸技術で生み出された生地を使ってできている」とあるので、一致する。

③「職人は中古の着物の生地を利用してシャツやジャケットを作ることが簡単だとわかった」

第4段 (The fabric used …) に一致しない。

④「Far East Fabric が作った服は、インターネットや店舗で購入できる」

第5段第1文 (Far East Fabric sells …) に一致する。via the internet 「インターネットを経由して」

⑤「日本中から集められた約8億枚の未使用の着物がリサイクルされてきた」

最終段第1文 (“It is believed …) に、国内には約8億枚の使われていない着物があるとは述べられているが、これまでにリサイクルされてきたという記述はない。同段最終文 (“We want to …) には今後リサイクル市場を盛り上げ、世界に広めたいとあるので、一致しない。

III

解答

(1) — ② (2) — ② (3) — ② (4) — ① (5) — ① (6) — ②
(7) — ③ (8) — ① (9) — ② (10) — ④

解説

- (1) 場所を表す関係副詞である② where を正解とする。
- (2) 「発酵した魚から作られたソース」
- (3) 「～にもかかわらず」
- (4) ①「想像上の」 ③「想像的な」
- (5) alike 「似ている」
- (6) out of order 「故障中」
- (7) be touched 「感動する」
- (8) neither A nor B 「AもBもどちらも～ない」 動詞はIに一致させることから、① go を正解とする。
- (9) encourage A to do 「Aに～するよう励ます、勧める」

(10) talk about ~ 「～について話す」

IV

解答

(3番目・5番目の順に) (ア)―⑥・① (イ)―④・⑤

(ウ)―③・⑥ (エ)―③・② (オ)―④・② (カ)―⑤・③

(キ)―③・① (ク)―②・① (ケ)―③・⑤ (コ)―①・②

解説

(ア) (I think) it is worthwhile staying in Singapore (for at least a week.)

it is worthwhile *doing* 「～することに価値がある」

(イ) Whenever Lisa visits Tokyo(,) we go (to her favorite temple in Asakusa.)

whenever 「～するときはいつでも」

(ウ) (I think it's) high time the children went to (bed.)

it's high time + 仮定法過去 「もう～してもよい頃である」

(エ) (You'll be) my best friend however far away you (are.)

however + 形容詞 / 副詞 + S V 「どれだけ～SがVしても」

(オ) (Take) your umbrella with you in case (it rains.)

in case ~ 「～の場合に備えて」

(カ) Having lived in Australia for a (long time, Emi can speak English fluently.)

分詞構文になっている。

(キ) (I) found it impossible to finish my (work in an hour.)

itは仮目的語であり、to do以降が真目的語になっている。

(ク) No one knows the subject better than (Dr. O'Brian.)

subject 「主題」

(ケ) (I) wonder if it's going to be sunny (tomorrow.)

if 「～かどうか」

(コ) (The package) will have been delivered by the time (I get home.)

by the time 「～する頃までに」は接続詞である。